

(令和2年1月試験研究業務月報)

試験研究課題：アズキ機械化栽培での難防除雑草の総合防除体系の確立

情 報

現地アズキ栽培ほ場で試験を行った 外来ホオズキ類^{※1}の防除体系の結果を報告

京都府内のアズキ栽培ほ場では、防除が困難な外来ホオズキ類による雑草害が広がっています。当センターでは、外来ホオズキ類が発生する時期の調査と機械除草や除草剤の条間散布^{※2}の効果を調査し、効果的な雑草防除体系の確立を目指しています。

今年度、当センターでは、外来ホオズキ類の防除体系の現地試験を中丹及び南丹地域で実施し、その結果を1月中旬から、現地の関係者に報告しました。現地試験に協力いただいた農業者からは、「外来ホオズキ類が少なくなった」、「効果的な除草方法がわかった」等の意見が聞かれました。

今後は、得られたデータを基に、防除体系の構築を行います。

※1 外来ホオズキ類：外国から侵入したナス科ホオズキ属の雑草で、実の色は彩やかでなく、利用価値がないが増殖力が強い。

※2 除草剤の条間散布：アズキが生えている列と列の間（条間）に除草剤を散布する方法。



協力生産者等へ現地試験の結果を報告